

2022年

やさしく強い地域経済  
コロナ危機をのりこえる  
何より命まもる

千葉県めざして

がんばります



右から、みわ由美県議、さいとう和子元衆院議員  
加藤英雄県議、浅野ふみ子党県副委員長

# 感染急拡大の抑え込みを

年末年始、心配されていた新型コロナウイルス・オミクロン株の感染が広がっています。日本共産党千葉県議団は、同変異株の市中まん延・「第6波」防止に向け、昨年12月24日、知事宛に緊急要請しました。

## 水際対策（空港検疫）

- 空港検疫を「抗原定量検査」から「PCR検査」にもどす
- すべての海外からの入国・帰国者は、原則、14日程度の施設待機  
⇒ これらの万全な対策を国に強く求める

## ワクチン接種

- 医療関係者や、高齢者・障害者・児童施設の従事者・利用者などへ、3回目のワクチン接種を前倒実施
- 県内市町村とも協力した集団接種会場確保など、すべての希望者が速やかにワクチン接種できる体制
- 国に対して、ワクチンの確保と、速やかな情報提供を求める

## PCR等検査

- クラスター防止のために定期的なPCR等検査を無料で行う（医療関係者、各種施設従事者と利用者、事業所、家庭など）
- 繁華街や公共交通の主要駅などで「いつでも、だれでも、何度でも、無料でPCR等検査」を
- 現在一週間あたり最大80件の「オミクロン株」ゲノム解析の能力を大幅に引き上げる

## 医療・保健所体制

- 必要な病床・医療スタッフ確保のため、県内医療機関全体への減収補てんなど支援強化
- 臨時医療施設のさらなる増設・増床
- 「発熱外来」維持のための支援拡充
- 保健所体制の強化

感染急拡大防止へ！  
くり返し求めた無症状者への  
検査がうごきはじまりました。  
さらなる拡充を求めます。

## 千葉県が「無料で検査」

県は感染に不安を感じる無症状の希望者を無料で検査することにしました。ようやく踏み出しました。検査は、特定薬局チェーン店など約140箇所です。しかし、一日のキャパシティは1月8日現在PCR検査約3300件、抗原定性検査約3500件で、1月31日迄しか実施しません。（柏市は独自に3月30日まで）県民への周知も極めて不十分です。「いつでも、誰でも、何度でも、無料で検査」へ、引き続き改善・拡充を求めています。

場所：県ホームページに掲載 <https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/pcrmuryouka.html>

\* 発熱、倦怠感など体調が悪い場合は、医療機関を受診



みわ由美  
(松江市)

加藤英雄  
(柏市)



# 生理用品 無償提供

1月から、すべての県立学校で  
誰にも言わず自由に利用できます

千葉県教育委員会は、すべての県立学校で生理用品を無償提供します。トイレ、同洗面所など、どこに置くか、各学校が決めます。特別支援学校は個々の生徒の実情に応じて対応します。利用の際、カードやスマホ（QR）への日付、氏名などの記入・入力は強制ではありません。黙って使えます。引き続き、ほかの公共施設にもひろげるよう県に働きかけます。

## みなさんと力あわせて一歩いっぽ前進

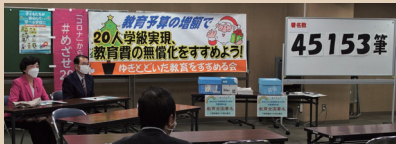
**日本共産党** Japanese Communist Party

### ●幕張メッセを「武器見本市」に使わないで！県庁前昼休み宣伝（12月7日）



「安保関連法に反対するママの会@ちば」などがとりくんだ宣伝で、幕張メッセでの「武器見本市」の中止を訴えました。この催しは、憲法9条や県施設管理条例（産業振興、文化の発展など）、「非核平和県宣言」とは両立せず、「死の商人」の儲けを手助けするものです。加藤英雄県議、みわ由美県議、さいとう和子元衆院議員、丸山慎一前県議、寺尾さとし前県議、市民ネット伊藤とし子県議らが参加しました。

### ●教育予算の増額、少人数学級の拡大、教育費の無償化を！署名提出集会であいさつ（11月26日）



「行き届いた教育を進める会」は、12月県議会にむけて、コロナ禍のなか4万5千を超える請願署名を集めました。この間、粘り強いとりくみで特別支援学校の設置基準ができ、小学校は2021年度から5年かけて35人学級となります。しかし、産休・育休などの代替教員未配置は11月1日現在300人を超えており、年度当初から県独自の教員採用が必要です。

### ●「病床ひっ迫」をくりかえさない（11月24日）



入院できない、コロナ第5波の教訓を生かして、新規感染者が減ったときこそ、最悪の事態を想定した病床確保の準備が求められます。コロナ感染患者を受け入れた病院を訪れ、医療スタッフから状況を伺いました。（入院患者がいない時に、細心の感染防止対策をして訪問）

### コロナまん延の不安高まるもと

### 『さながら超党派の忘年会』

週刊ポストは、県議会開会中の12月9日、自民党、立憲民主・千葉民主の会、公明党、無所属の県議らが千葉市内の焼き肉店で4時間にわたり「宴会」を開き、副知事や幹部職員も参加。「男女の笑い声が店外の道路にまで響き渡り、マスクを外して会話をしている様子が見える」一部のメンバーは、「2次会」で深夜までマスクを着用せずにカラオケに興じ、その店は「飲食店感染防止基本対策確認店」ではなかった、と伝えています。県が「3密」回避、マスク着用などの基本的な感染対策をよびかけ、食事は短時間、深酒をせず大声を出さない等の注意喚起しているときに、このような議員の行為はゆるぎません。議長に対して、調査や再発防止策の徹底を申し入れました。

県民から信頼される県議会・議員に議長に申し入れました

12月県議会に提出された主な意見書・請願 (○…賛成・採択 ×…反対・不採択)	共産党	自民党	立憲民主 千葉民主	公明党	千翔会
憲法9条「改正」発議の断念を求める意見書	○	×	×	×	×
核兵器禁止条約の批准を求める意見書	○	×	○	×	○
日・米オスプレイの撤去を求める意見書	○	×	×	×	×
約20万床の病床削減をする地域医療構想の中止・撤回を求める意見書	○	×	×	×	×
痴漢を根絶するための対策強化を求める意見書	○	×	×	×	○
米価下落の不安をなくし、米生産の安定化を求める意見書	○	×	×	×	×
県独自に少人数学級を拡充。当面35人以下学級を小・中・高すべての学年で早急を実現(請願)	○	×	×	×	×

2月定例県議会 2/16開会 3/18開会

日本共産党は、一般質問（本会議）と予算委員会質疑（3/7・8）を予定しています。請願締め切り 2/24・午後5時